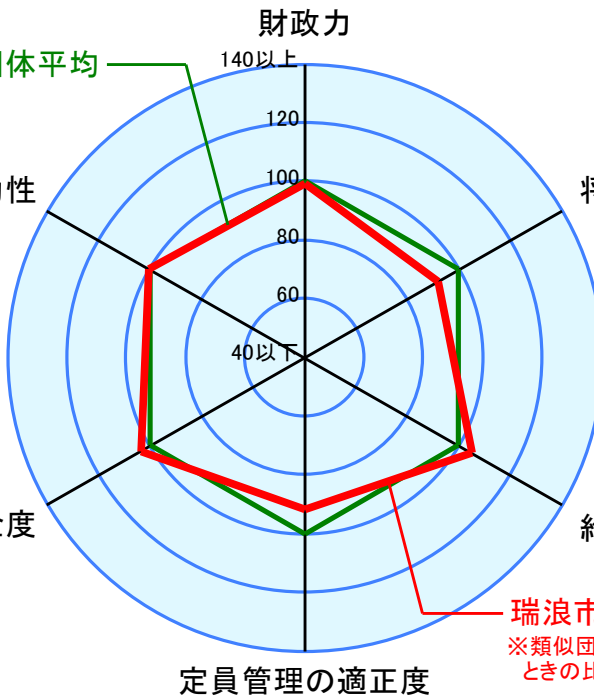


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

岐阜県 瑞浪市

人口	41,171人(H17.3.31現在)
面積	175.00 km ²
歳入総額	15,634,031千円
歳出総額	14,754,419千円
実質収支	717,505千円

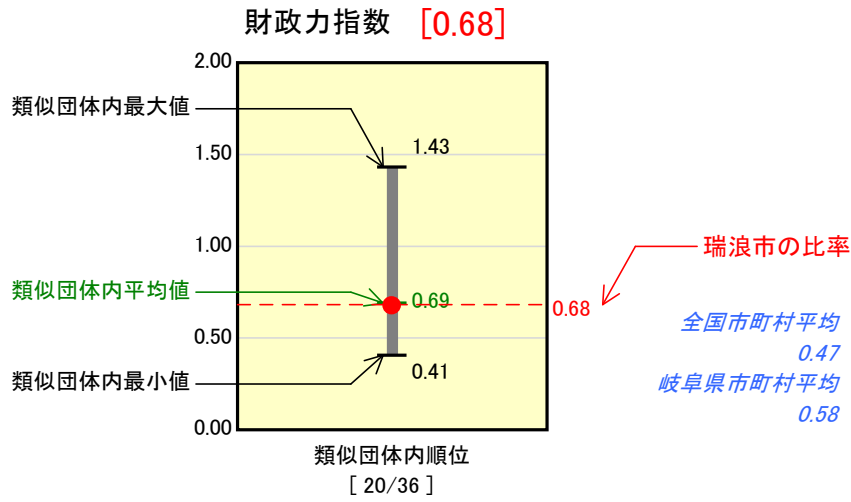


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

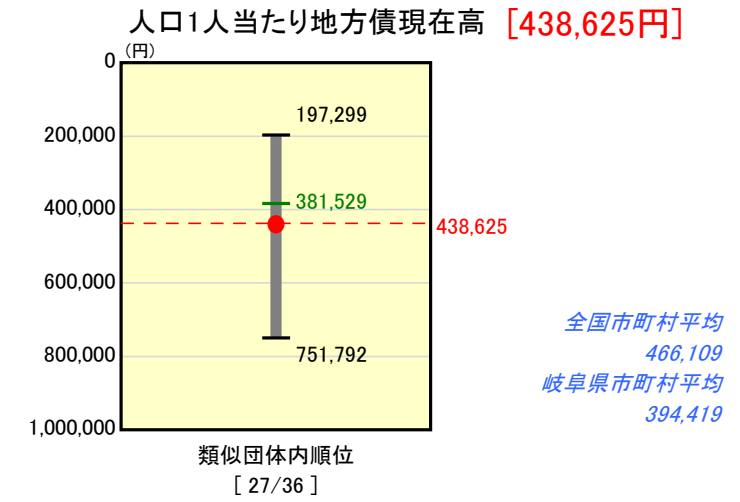
分析欄

- 財政力指数
 - ・現在はほぼ類似団体平均であるが、全国平均を上回る高齢化率(16年10月1日現在 21.8%)や、地場産業の低迷等により歳入に占める市税収入の割合は低く、財政基盤は不安定である。企業誘致による雇用の拡大や産業構造の複合化に取り組み、また、近年低下傾向にある税の徴収率(平成12年度比1.5%減)を向上させるため、徴収体制の強化や納付機会の拡大を図り歳入確保に努める。
- 経常収支比率
 - ・公債費、扶助費は今後増加することが予測されることから、定員管理の適正化(平成22年度までに8.5%の減員)、民間委託等の推進、指定管理者制度の活用による人件費の削減と受益者負担の見直し等による繰出金の抑制、その他経常経費のいっそうの削減に取り組み、今後も現在の水準を維持する。(平成22年度目標数値89.0%)
- 起債制限比率
 - ・類似団体平均を若干下回っているが、平成12年度から16年度にかけて実施した可燃物焼却場、不燃物最終処分場建設にかかる借入れ等の償還のため、平成13年度と比較し1.3ポイント上昇した。今後も上昇する予測であるが、市債依存型の事業実施の見直しと交付税算入割合の高い地方債の発行に努め、現在の水準を維持する。
- 人口1人当たり地方債現在高
 - ・平成12年度地方債残高約120億円と比較し、16年度残高は約180億円と50%も増加している。主な要因は平成12年度から16年度にかけて実施した可燃物焼却場、不燃物最終処分場建設にかかる借入れ約25億円と、平成13年以降に借入れた臨時財政対策債約21億円によるものである。16年度現在は類似団体平均を若干上回っているが、今後は新規発行債を抑制し、財政の健全化に努める。
- ラスパイレス指数
 - ・人事院勧告に基づき、平成14年度から給与のマイナス改定、平成17年度には特殊勤務手当の見直し、調整手当の廃止などの縮減に努めている。平成18年度には給与構造の改定により給料表の平均4.8%の引き下げ、給与カーブをフラット化するなどより一層給与の適正化に努める。
- 人口1,000人当たり職員数
 - ・定員適正化計画をさらに見直し、職員数について平成16年度(435人)を基準に、平成22年度までに8.5%、37人を削減、平成27年度までに10.3%、45人の削減(職員数390人)を目標とする。

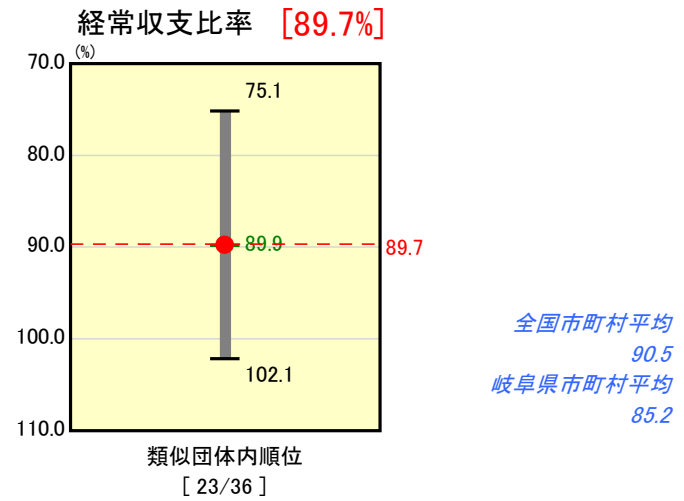
財政力



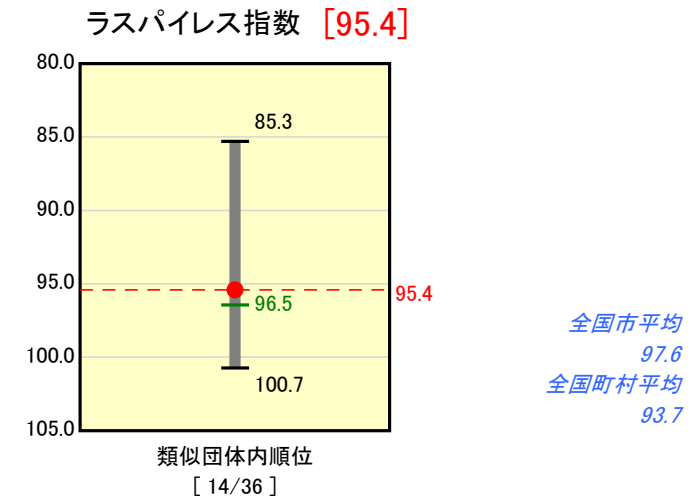
将来負担の健全度



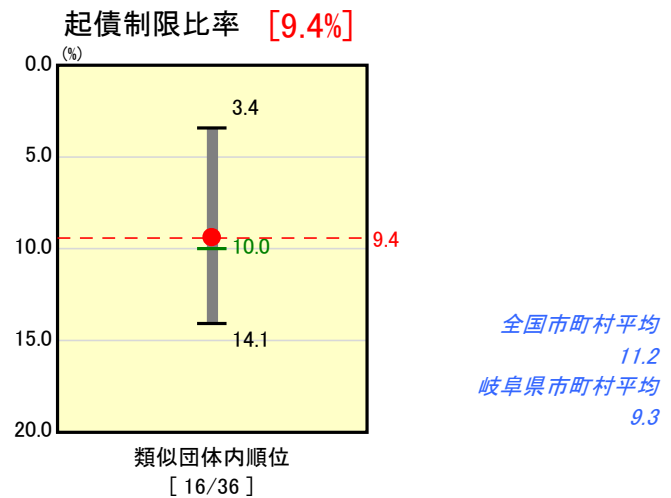
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度

